

招 集 期 日	平成 2 8 年 1 2 月 1 2 日 (月)		会議の場所	教育委員室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 時 3 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 2 時 4 5 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	柿 沼 拓 弥 委 員	出 席	
古市明教育長職務代理者	出 席	高 瀬 賢 一 委 員	出 席	
春 山 教 子 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	橋本教育総務課長	小島学校給食センター所長
	池澤生涯学習課長	山木スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長	
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会	教育長	12 月定例教育委員会を開会		
日程第1 前回会議録の承認	教育長	教育委員会の会議は原則公開であるが、人事に関する事件その他の事件について出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは公開しないことができる。本日の日程で非公開とすべき案件はないため、全て公開としてよろしいか。		
		異議なしの声あり		
	教育長	11 月定例教育委員会の会議録の承認について諮った。		
		異議なしの声あり		
	教育長	前回会議録は、承認された旨宣した。		
	教育長	報告事項 1 から 3 について、学校教育部長から説明を求めた。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 平成28年度羽生地区 青少年健全育成地域 フォーラムの結果に ついて</p>	<p>学校教育部長</p>	<p>羽生市産業文化ホール小ホールにて11月2日に開催した。小学校2校、中学校3校及び羽生高校の児童生徒による実践発表の後、開善塾教育相談研究所所長、埼玉県教育委員会教育委員長である藤崎育子氏に「親と子の距離～子供を自立した大人に育てるために～」と題し講演をいただいた。参加総数は326名であった。児童生徒の実践発表は、自己の実体験を踏まえ前向きに将来の展望を語るようなものであった。講演に関しては、不登校児童生徒への訪問支援について、講師自身の体験を基に、具体例を挙げたわかりやすい講演内容であった。学校関係者の他、地域で青少年の健全育成に携わる人達の意識を高めることができた。</p>
<p>報告事項2 平成28年度羽生市人 権教育研究集会の結 果について</p>	<p>学校教育部長</p>	<p>羽生南小学校にて11月22日に実施された。全体会の中で、羽生市同和対策集会所指導員の青鹿輝雄氏による人権教育講話があり、その後、4つの分科会さらに2つずつの分散会に分かれて研究協議を進め、その後、指導・講評を行った。参加総数は299名であった。人権教育講話では、従来からの人権問題に加え、インターネットとりわけSNSを悪用した人権侵害についてうかがうことができた。経験年数の浅い学校職員にとっては同和問題に対する意識を高める貴重な機会となった。また、小中学校の教職員並びにPTA役員が具体的な実践を提案し、参会者がその実践に基づいた研究協議を行うことで、人権教育に対する理解を深めることができた。</p>
<p>報告事項3 平成28年度学校歯科 保健表彰校について</p>	<p>学校教育部長</p>	<p>第55回全日本学校歯科保健優良校表彰では、新郷第一小学校と西中学校が日本学校歯科医会会長賞を受賞した。埼玉県学校保健・学校安全・学校給食優良学校及び努力学校では、川俣小学校が学校給食の部で努力学校を受賞した。第63回埼玉県学校歯科保健コンクール表彰校では、小学校小規模校の部で新郷第一小学校が歯科医師会会長賞、川俣小学校が最優秀校、新郷第二小学校、三田ヶ谷小学校、村君小学校が優良校、岩瀬小学校が入選校を受賞、小学校中規模校の部で羽生南小学校が歯科医師会会長賞、手子林小学校が最優秀校、羽生北小学校と井泉小学校が優良校を受賞、中学校中規模校の部で、西中学校が歯科医師会会長賞、東中</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 平成28年度羽生市人権教育指導者研修会の結果について</p> <p>報告事項5 埼玉県PTA連合会各地区小・中学校PTA役員等研修会兼羽生市PTA連合会家庭教育研修会の開催について</p> <p>報告事項6 平成28年度トップアスリート育成事業羽生市少年野球教室の結果について</p>	<p>教育長</p> <p>生涯学習課長</p> <p>生涯学習課長</p> <p>教育長</p> <p>スポーツ振興課長</p>	<p>学校が最優秀校を受賞した。これまで最優秀校を受賞した学校は、実地審査なしで歯科医師会会長賞を授けられている。</p> <p>報告事項4及び5について、生涯学習課長から説明を求めた。</p> <p>各種団体・機関及び事業所で指導的立場にある方々を対象として人権問題に対する理解を深め、それぞれの立場で人権教育を推進することを目的とし、9月3日から11月12日までの期間で全5回に渡り開催した。3回以上受講した方を修了者としたが、191人の申し込みのうち修了者は126人で、全体に対する割合は65.9%であった。内容については、96%の方が「わかりやすかった」「理解を深めることができた」と答えており、2日目の「被災地における人権」が大変好評であった。</p> <p>平成29年1月21日に、ワークヒルズ羽生大会議室にて開催する。小中学校のPTA会員等を対象に、心豊かな子ども達の育成に関する研修会を開催し、PTA活動の活性化を図っていく。主催は羽生市PTA連合会、埼玉県PTA連合会北埼玉支部である。研修会開催中は3歳以上の未就学児の託児サービスを行う予定である。</p> <p>報告事項6から8について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p> <p>元プロ野球選手である黒江透修氏他4名の講師を迎え、市内小学生4年生から6年生及び指導者を対象に6月4日、11月5日の2回に渡り実施した。参加者数は、1回目が小学生138名、指導者53名の計191名。2回目は小学生125名、指導者46名の計171名、合計362名であった。走塁、守備、打撃について講師より丁寧な指導をいただき、子ども達、指導者共に一生懸命に耳を傾け真剣</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項7 第41回羽生市ミニバスケットボール大会の開催について	スポーツ振興課長	<p>な眼差しで受講していた。2日間とも天候に恵まれ、スポーツ少年団野球部会の協力により、スムーズな運営を行うことができた。</p> <p>市教育委員会主催、スポーツ少年団ミニバス部会を主管として平成29年1月29日、2月5日の2日間に渡り開催する。会場は羽生市体育館、参加チームは市内女子ミニバスケットボールチームの6年生以下のレギュラーチーム、5年生以下のフレッシュチームとしている。</p>
報告事項8 第31回羽生市民駅伝大会の開催について	スポーツ振興課長	<p>羽生市陸上競技協会及び羽生市教育委員会が主催し、羽生市スポーツ推進委員の協力、東京新聞社の後援により、平成29年2月19日に開催する。天候等グラウンドコンディション不良の場合は、延期なしの中止となる。羽生中央公園陸上競技場をスタートし、中央公園内のコースを走る。小学校男子、女子の部 6.1km、中学生女子、高校・一般女子の部 9.0km、中学生男子、高校・一般男子の部 16km の6種目、各5区間として実施する。参加資格は市内在住、在学、在勤者とし、参加費は無料である。</p>
報告事項9 蔵書点検のための特別整理休館について	教育長	<p>報告事項9から13について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p>
報告事項9 蔵書点検のための特別整理休館について	図書館長兼郷土資料館長	<p>特別整理期間を休館として羽生市立図書館で所有している蔵書を登録データと照合するための点検を行うものである。期間は1月23日から1月27日までとし、点検の結果は3月定例教育委員会にて報告する。昨年度は、蔵書点検により221冊の不明図書があることが確認された。</p>
報告事項10 リサイクルフェアの実施について	図書館長兼郷土資料館長	<p>羽生市立図書館で除籍となった本や市民から提供された本を再活用するため希望者に無償譲渡する。平成29年1月12日は市内の公共施設、1月13日から15日までは市民を対象とする。昨年</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項11 「聞かせ屋。けいたろう絵本の読み聞かせ会」の結果について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>度は5施設と市民443人が参加し、8000冊の内3500冊を持ち帰っていただいた。</p> <p>11月20日に羽生市立図書館の視聴覚室で開催した。JPIC読書アドバイザーの「聞かせ屋。けいたろう」こと坂口慶氏を講師に招き、午前中、乳児の部、幼児の部、小学生から大人の部の3部構成で実施し、参加者は延べ131名であった。講師は、導入でウクレレやタップダンスをして参加者を引きつけ、何故この本が良いのか、どんな本を選べば良いか、どんなことをすれば子どもに興味を持ってもらえるかを話しながら読み聞かせを行い、とても好評であった。</p>
<p>報告事項12 図書館 休館日の変更について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>平成29年3月23日の休館日を3月31日に変更し、館内整理作業と併せて年度末統計業務を実施しようとするものである。</p>
<p>報告事項13 ふるさと講座Ⅱ「ふるさと歴史散歩～村君地区を歩く～」の結果について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p> <p>教育長</p>	<p>11月23日に、羽生市文化財審議委員の間仁田勝氏を講師として開催した。受講者数は昨年度より3名増えて27名であった。村君地区の社寺を中心に講師の解説を交えて見学し、約8kmの距離を歩いた。肌寒い天気であったが、樹々も紅葉し景色も素晴らしかった。当日の様子が11月26日の埼玉新聞に掲載された。</p> <p>その他の報告を求めた。</p>
<p>報告事項14 その他</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>11月定例教育委員会の報告事項で、新郷第一小学校区の放課後子ども教室の開設について説明したが、予定していた指導員3名より、辞退したいという申出があったため、人員構成が変わることになることを報告する。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	報告事項に関して質問・意見を求めた。
	古市委員	<p>青少年健全育成地域フォーラムを聞きに行ったが、内容は素晴らしいものであり、会場に居合わせた人が聞いただけではもったいないという気がした。もし講師の了解を得られるようであれば、ビデオに収録して、当日参加できなかった人も後で視聴できると良いと思った。検討していただければ幸いである。</p>
	学校教育部長	<p>講師の意見を尊重し、事前に十分に打合せを行った上で、了解を得て進めていきたい。</p>
	春山委員	<p>PTA 連合会の研修会の開催時間中の託児サービスについては、小さい子どもがいても研修を受ける機会を作れて良いと思うが、預かる子どもの年齢を3歳より小さく設定できれば、より多くの方が参加できるのではないかと思った。</p>
	生涯学習課長	<p>主催者と相談し、検討したい。</p>
	春山委員	<p>人権教育研究集会について、出席者がより積極的に参加するようになってきているとの報告であった。毎年やれば良いということではなく、時代に応じて必要なものややっていかななくてはいけないと思う。それを来年度に向けて精査していかなくてはいけない。現在も色々な事業があり、どれも必要なことは確かであるが、時にはなくすことも選択肢のひとつとし、スクラップ・アンド・ビルドを検討できればと思う。</p>
	学校教育部長	<p>事業を広げていくということの中で、教育委員会の事務局の担当者の人数も多くなく、取組が不十分になってしまつては、せっかくやっても良い結果が出せないため、止める方向で進んでいる事業もある。そうすることで教育委員会、学校共に力を注ぐべき所に注いでいくという考え方で進めたいと考えている。</p>
	教育長	<p>負担軽減ということも現在は大事な視点となっている。その時のニーズに合わせて新しい課題に対応し、必要な事は質を高めて継続するために、取捨選択は必要である。</p>

会議事件名	て ん 末	
	古市委員	<p>学校歯科保健については、大変多くの学校が表彰され、歯科医師の一人として本当に有難い。羽生市ではどの学校も養護教諭だけが熱心に取り組むということだけでなく、全校を挙げて取り組むことができている。その順位は、高いレベルの中で僅差であり、それでも順序が固定化している。何が差なのか、よく見れば見えると思うので、それをよく精査して、更なる向上をお願いしたい。一方、ここまでレベルが高くなるとマンネリ化が恐いので、2番手、3番手の学校が必死になって後を追ひ、羽生市全体のレベルを上げて欲しい。</p>
	学校教育部長	<p>歯科医師会による歯科健診後の各学校への直接の指導があつての学校の取組であると考えている。また、指導を受けた養護教諭が校長、教頭に自分の学校に不足しているところ、頑張らなくてはいけないところをしっかりと報告し、校長が各先生方に指導をして進めていると思う。そうした情報を養護部会でも協議し、各校の相違点を検証する中で、次年度の課題を明確化している。教育委員会としても校長会に働きかけ、歯科保健を推進していきたい。</p>
	古市委員	<p>学校の取組については、学校歯科医の取り組み方も影響すると思うため、もし気づいた点があれば、会長を通してでも良いので、遠慮なく言って欲しい。</p>
	教育長	<p>各学校がPTA会長、自治会長や学校応援団の協力体制があり、学校独自の取組を行っている。歯科保健活動は、子ども達の頑張りももちろんだが、そこに携わる保健主事、養護教諭をはじめ学校全体、そして家庭の協力により高い評価を得ている。自信を持ち、誇りを持って「羽生市は歯が自慢」と言えるであろう。古市委員にはご多用の中、急遽の対応で県学校歯科保健コンクールの全3校の現地検査を回っていただき、ありがとうございます。</p>
	古市委員	<p>3校見せていただいて楽しかった。特に川俣小学校が地域との連携をアピールできていた。</p>

会議事件名	て ん 末	
	柿沼委員	<p>人権研究集会、人権教育指導者研修会に関連して、最近、震災の被災地から避難してきた子どもがいじめにあっているという報道が多いが、羽生市内ではそのような児童生徒はいるか。</p>
	学校教育部長	<p>現在、羽生市内の小中学校には、震災により避難してきた児童生徒が二十数名いる。全ての学校で現状の確認を行ったが、いじめはなく、元気に休まず学校に来ているとのことだった。今後もその子の学校での様子や欠席状況等を特に注意して見てもらえるよう、各学校の校長、教頭に依頼している。</p>
	古市委員	<p>トップアスリート育成事業の指導者である黒江透修氏は、先日亡くなった元巨人軍コーチの荒川博氏に師事していたと聞く。荒川氏は王貞治氏を育てたことで有名である。トップアスリート育成事業に参加した人達には黒江氏の功績等は浸透しているが、野球に関わっていない人は詳しく知らないと思うので、一般市民対象に講演を行っていただくとすれば、荒川コーチの指導や、王選手の努力する姿とか、良い話が聞けるのではないかと思います。そのような企画はいかがか。</p>
	スポーツ振興課長	<p>黒江氏とは、少年野球教室が終わった後にも何度か会う機会があり、野球教室だけでなく、市民に対して野球を通し何か良い話ができないかということをお話した。どのような企画にするかについて今後調整していきたい。また、川俣地区の方が少年野球教室を通し、黒江氏に是非来て欲しいとお願いしたところ、気持ちよく応えてくれ特別に川俣小学校を訪ねてくれたという経緯がある。ボランティアによるおもてなしで黒江氏を迎え、子ども達も貴重な体験をできたと、間接的だが報告があった。</p>
	古市委員	<p>黒江氏と羽生市との繋がりは、一般市民に広く認知された後でより深く、太くすることができたら素晴らしいと思う。</p>
	生涯学習部長	<p>黒江氏には、トップアスリート育成事業を始めた6年前からお世話になっており、現在では野球教室の校長先生として、年度末には黒江賞と冠し、頑張ったチーム、個人それぞれを表彰している。その他、黒江氏の人脈により、桑田真澄氏に来ていただいたりと、多大な協力を得ている。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	<p>事業を継続することで、市民にスポーツの大切さを伝え、人生には豊かな心が必要であるという示唆をいただける機会を設けていきたい。</p>
	高瀬委員	<p>年度内に市民向けや小中学校の子ども達向け等で有名な人を呼んで講演を依頼することはあるか。</p>
	学校教育部長	<p>12月13日に、東中学校にてコメディアン golgol 松本氏が、「命の授業」ということで講演する。少年院等を回って命の大切さを発信することをずっとやられている方であり、東中学校PTAの後援会が企画し、招いたものである。</p>
	柿沼委員	<p>トップアスリート育成事業について、先月開催された「世界キャラクターさみっと in 羽生」をPTAで応援していこうと出店し、販売を行った。大学生3人にボランティアで手伝ってもらったが、その学生が元東中学校野球部員であり、埼玉県大会で優勝したチームのメンバーだった。現在19歳であるが、働きが非常に良く、2日間の中で話をしたら、一人は高校野球で甲子園に出場し、もう一人は教師になりたいと言っていた。トップアスリート育成事業がどのくらい影響したかは分からないが、羽生市の教育で育った子ども達が、教育に憧れ学校に戻ってきて続いていくのかと感心した。</p>
	スポーツ振興課長	<p>今秋、東中学校の野球部が県大会で優勝したが、6年ぶりの2度目ということで、柿沼委員の話された学生は、6年前の優勝メンバーと推測される。トップアスリート育成事業を実施することにより、競技のレベルアップはもちろんだが、人間関係等、養えることも非常に多いため、スポーツは競技のみならず、教育面で非常に重要なものであると感じている。そのような視点で子ども達に対するスポーツを通じた教育を推進していきたい。</p>
	教育長	<p>今年を振り返ると東中学校野球部が新人戦で優勝、西中学校科学部が科学展において県知事賞を受賞、南中学校が全国緑化コンクールで全国の準特選を受賞という成績を収めた。全中学校が、</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>知、徳、体において目ざましい活躍を見せてくれた。そしてコミュニケーション能力ということで、今後プレゼンテーションコンクールが開催される。小学校でしっかり土台を作ることができているから、中学校に繋げて成果が出るため、大変有難く思っている。</p>
	古市委員	<p>ミニバスケットボール大会についてであるが、現在、スポーツの裾野を広げるには、なかなか難しい状況になってきており、ミニバスだけでなく、他の色々なスポーツのチームでも参加者が少なくなっていると思う。単にチームの問題として悩んでいるかもしれないが、スポーツや習い事に参加させることを子育ての一部と捉えると、子育てをしやすい環境を作ることが参加者の増加に繋がると思う。チームの人数が減ってきたから合併する等の小手先の対応ではなく、根本的なところを見据えて、子育て支援課等各部署と連携して少子化への対応に取り組んでいただければ有難い。</p>
	スポーツ振興課長	<p>スポーツ少年団の参加人数は、少子化の影響もあると思うが、どの競技も減少しており、これは羽生市だけでなく全国的な傾向であると思う。指導する側の事情も変化しており、指導員の確保も難しく、子ども達をスポーツで育成する環境も非常に厳しい状況であると認識している。古市委員の提案のように、子育ての一環として幼い頃からスポーツに親しめる環境があれば、そこから次に発展することもあると思う。個人の体操教室などは小さい子どもを対象にして実施しているものもあるため、そういった部分を活かし、各部署と連携を図りながら、この状況の歯止めとなるよう今後検討したい。</p>
	教育長	<p>市立図書館の蔵書点検のための休館と、年度末の休館日の変更について、市民への周知はどのように行うか。</p>
	図書館長兼郷土資料館長	<p>広報及びホームページに掲載し、周知する。</p>
	高瀬委員	<p>昨年度の蔵書点検において 221 冊の不明図書があったとの報告であるが、不明の原因と、その後の処理はどのようになったか。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 議案第50号 羽生市教育委員会文書管理規則の一部を改正する規則</p>	図書館長兼郷土資料館長	<p>不明の原因は、持ち去りやデータ登録の間違い等が考えられる。221冊のうち一般書は148冊、残りは雑誌等である。館内をくまなく探してどうしても見つからない場合は、除籍処分としてデータを削除することとしている。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第50号について教育総務課長から説明を求めた。</p>
	教育総務課長	<p>羽生市公文例規程の全面的な見直しが行われ、平成29年1月より全部改正となる。これに伴い、教育委員会の文書管理規則における文書の作成に用いる公文の例式を市規程の例によるものとするために改正するものである。</p>
	教育長	<p>議案第50号について、意見・質問を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>議案第50号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第50号については、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。</p>
	教育総務課長	<p>1月定例教育委員会は、1月19日 13時30分から教育委員室にて開催する。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	<p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>